

歩掛参考見積募集要領

次のとおり歩掛参考見積を募集します。

令和 5 年 4 月 27 日

独立行政法人水資源機構
香川用水管理所長 南保 正俊

1. 目的

この歩掛参考見積依頼は、香川用水施設緊急対策事業で実施している工事の積算の参考とするための作業歩掛を募集するものです。

なお、この参考見積依頼は、工事等の指名（若しくは競争参加資格）をお約束するものではありません。

2. 参考見積書提出の資格

- (1) 水資源機構における令和 5・6 年度一般競争（指名競争）参加資格業者の認定を受けていることとします。
- (2) 営業に関し法律上必要とされる資格を有していることとします。
- (3) 当機構から「工事請負契約に係る指名停止等の措置要領」（平成 6 年 5 月 31 日付け 6 経契第 443 号）に基づき、吉野川水系関連区域において指名停止を受けていないこととします。

3. 参考見積書の提出等

- (1) 参考見積書は作業項目毎に必要な作業員、資機材の人数等を記載して提出してください。記載様式には一次単価までしか記載していませんが、必要に応じて二次単価以降の詳細も記載願います。

なお、参考見積書の様式は、「別紙-2」を参考としてください。

- (2) 提出期間 令和 5 年 5 月 17 日（水）まで
持参する場合は、上記期間の土曜日、日曜日を除く毎日、午前 8 時 30 分から午後 5 時まで
- (3) 提出先

独立行政法人水資源機構 香川用水管理所長 宛

【担当】 四宮

〒766-0004 香川県仲多度郡琴平町榎井 891-2

TEL 0877-73-4225 FAX 0877-73-4226

- (4) 提出方法
書面は持参、郵送又は FAX（社印があること）により提出をお願いします。

4. 参考見積内容

- (1) 基本条件
香川用水施設緊急対策事業における後施工プレート定着型せん断補強鉄筋に係る施工歩掛。作業は水路内をドライ環境において施工可能となるよう、事前に水路内の排水作業及び工事用道路、足場等の仮設は現場にあるものとします。詳細は別添図面を参照。

(徳島県三好市池田町地内、香川県三豊市山本町地内、香川県まんのう町地内)

(2) 作業項目、作業内容及び作業数量

別紙-1 見積仕様書のとおりです。

(3) 工事費の構成と歩掛見積範囲

①本歩掛参考見積を適用する工事費の構成は、当機構が別に制定する「積算基準及び積算資料(各編)」(以下、「基準書」という。)によるものとします。

②歩掛参考見積範囲は基準書で定義されている直接工事費のうち、上記(2)を実施する為に必要な作業員、資機材の人数等とします。

(4) 作業員の職種と定義

国土交通省が公表している「令和5年度公共工事設計労務単価」における「調査対象職種の定義・作業内容」によるものとします。

(5) 見積件名

見積の件名は「後施工プレート定着型せん断補強鉄筋による耐震補強作業」としてください。

5. 歩掛参考見積募集要領に対する質問

この歩掛参考見積募集要領に対する質問がある場合においては、次に基づき、書面(様式は自由)により提出してください。

(1)提出期間：令和5年5月10日(水)まで

持参する場合は、上記期間の土曜日、日曜日を除く毎日、午前8時30分から午後5時まで

(2)提出場所：3.(3)に同じ。

(3)提出方法：3.(4)に同じ。

6. 質問に対する回答

質問に対する回答は、次のとおり閲覧に供します。

(1)閲覧期間：質問提出期限の翌日から見積書提出期間終了まで

(2)閲覧方法：ホームページに掲載します。

7. 参考見積書作成及び提出に要する費用

参考見積提出者の負担とします。

8. 貸与資料等

なし

9. ヒアリング

提出していただいた参考見積書についてヒアリングを実施することがあります。

以上

1. 見積条件

見積りは、(財)土木研究センターの発行する建設技術審査証明報告書「Post-Header」に準じた施工内容により算出することとする。施工条件は以下のとおりとするが、詳細は別添参考図を参照。

<施工条件>

- ・ 施工場所：香川用水取水工（徳島県三好市池田町地内）
香川用水神田調節堰（香川県三豊市山本町地内）
香川用水土器川調節堰・放水工（香川県まんのう町地内）
- ・ 施工目的：既設コンクリート水路の耐震補強
- ・ 施工数量：別紙-2のとおり。配置は別添図参照。
- ・ 施工ヤード：施工箇所は、ドライ環境での施工を基本とする。水路内現場は、事前に水路内排水作業を実施。
取水工は片側通水状態で非かんがい期（10月11日以降）の施工。
神田調節堰は非かんがい期（10月11日以降）の施工。
土器川調節堰は非かんがい期（10月11日以降）、余水吐部は工程制限なし。
土器川放水工ゲートは扉体を撤去した状態で非かんがい期（10月11日以降）の施工。
- ・ その他：施工対象施設は香川用水幹線水路であり、水道用水の原水を通年で通水している状況であるため、削孔、モルタル注入等作業に当たっては、材料飛散等により水質障害が発生しないよう十分留意する必要がある。

以 上

別紙-2 「歩掛見積記入表(参考)」

後施工プレート定着型せん断補強筋(ポストヘッドバー工法)

内訳書

(〇〇本当たり)

名称	品質寸法	単位	数量	単価	金額	備考 ※一例とする
【取水工】						
側壁部(上部)	部材厚700mm、D13(SD345)、 L=577mm、削孔φ30L=629mm	本	170			単価表①
側壁部(下部)	部材厚700mm、D29(SD345)、 L=577mm、削孔φ46L=629mm	本	240			単価表①
【神田調節堰】						
側壁部	部材厚389(平均)mm、D13(SD345)、 L=262mm、削孔φ30L=318mm	本	104			単価表①
【土器川調節堰(幹線水路)】						
底版部	部材厚300mm、D13(SD345)、 L=175mm、削孔φ30L=231mm	本	24			単価表①
底版部 ポリマーセメントモルタル併用	部材厚300mm、D13(SD345)、 L=196mm、削孔φ30L=184mm	本	36			単価表①
【土器川調節堰(余水吐)】						
底版部	部材厚300mm、D16(SD345)、 L=175mm、削孔φ30L=231mm	本	123			単価表①
【土器川放水工】						
底版部 ポリマーセメントモルタル併用	部材厚400mm、D16(SD345)、 L=294mm、削孔φ30L=283mm	本	120			単価表①
側壁部	部材厚381(平均)mm、D13(SD345)、 L=252.5mm、削孔φ30L=311.5mm	本	36			単価表①

単価表①

(〇〇本当たり)

名称	品質寸法	単位	数量	単価	金額	備考 ※一例とする
側壁部	部材厚〇〇mm、D〇(SD345)、L=〇〇 mm、削孔L=〇〇mm					
PHb	〇〇	本				材料費
注入材	PHbモルタルN(非流動型)	kg				材料費
削孔	φ〇〇mm×L=〇〇mm	箇所				施工費(労務内訳等)
定着工		箇所				施工費(労務内訳等)
特許使用料	直接工事費の〇〇%	式	1			
その他必要な項目						
〇〇*3						
計						〇〇円/本
*1 労務費は必要に応じた労務者を計上する。						
*2 機械経費、材料費等は必要に応じて計上する。						
*3 必要に応じて計上する(計上項目が無い場合は不要)。						
*4 機械経費、材料費において諸雑費等を労務費の割合で示す場合の表示方法。						
※ 参考までに日当り施工量を添付していただくと助かります。						

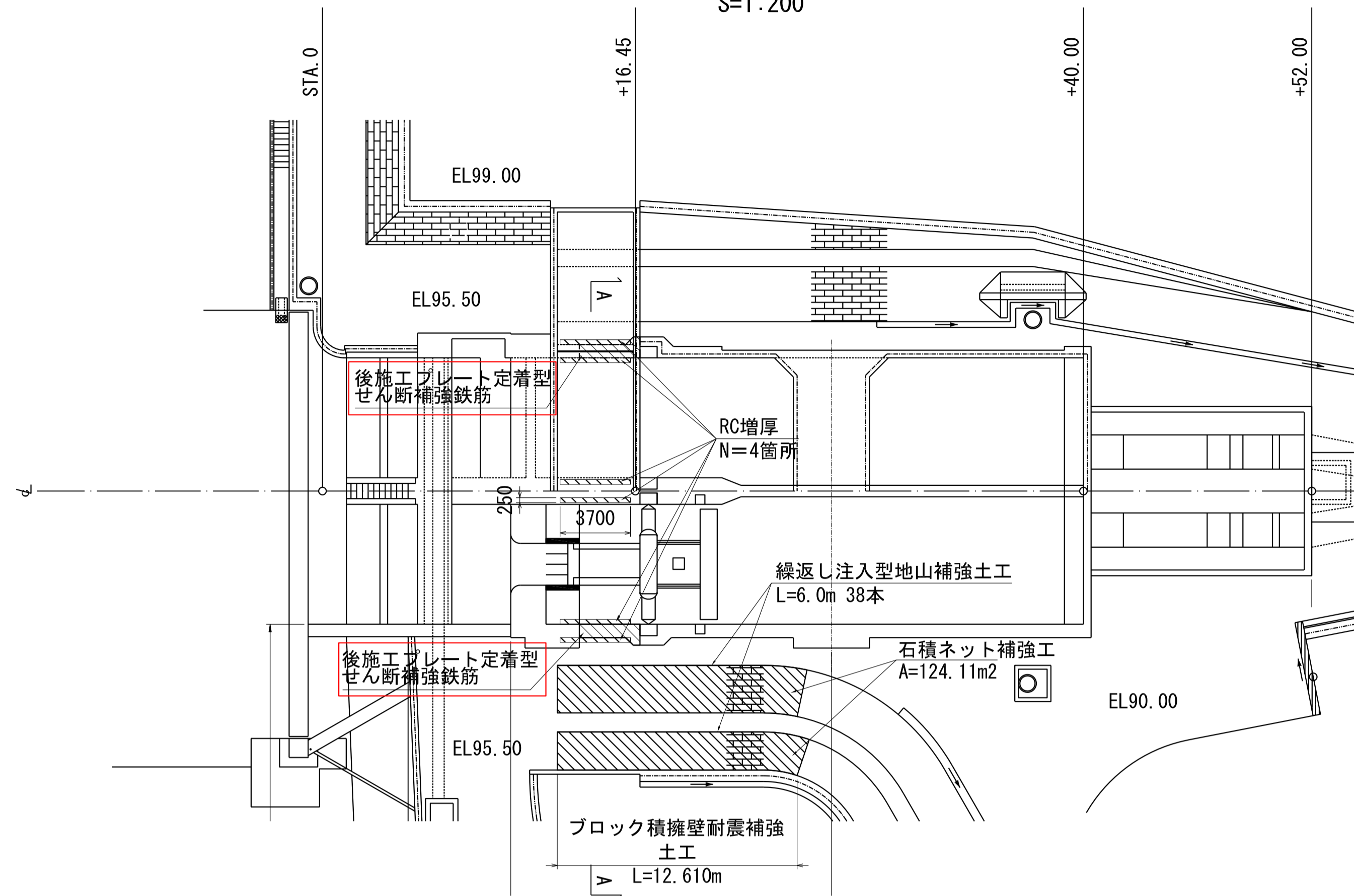
取水工 耐震補強工計画図

注意事項

平面図

S=図示

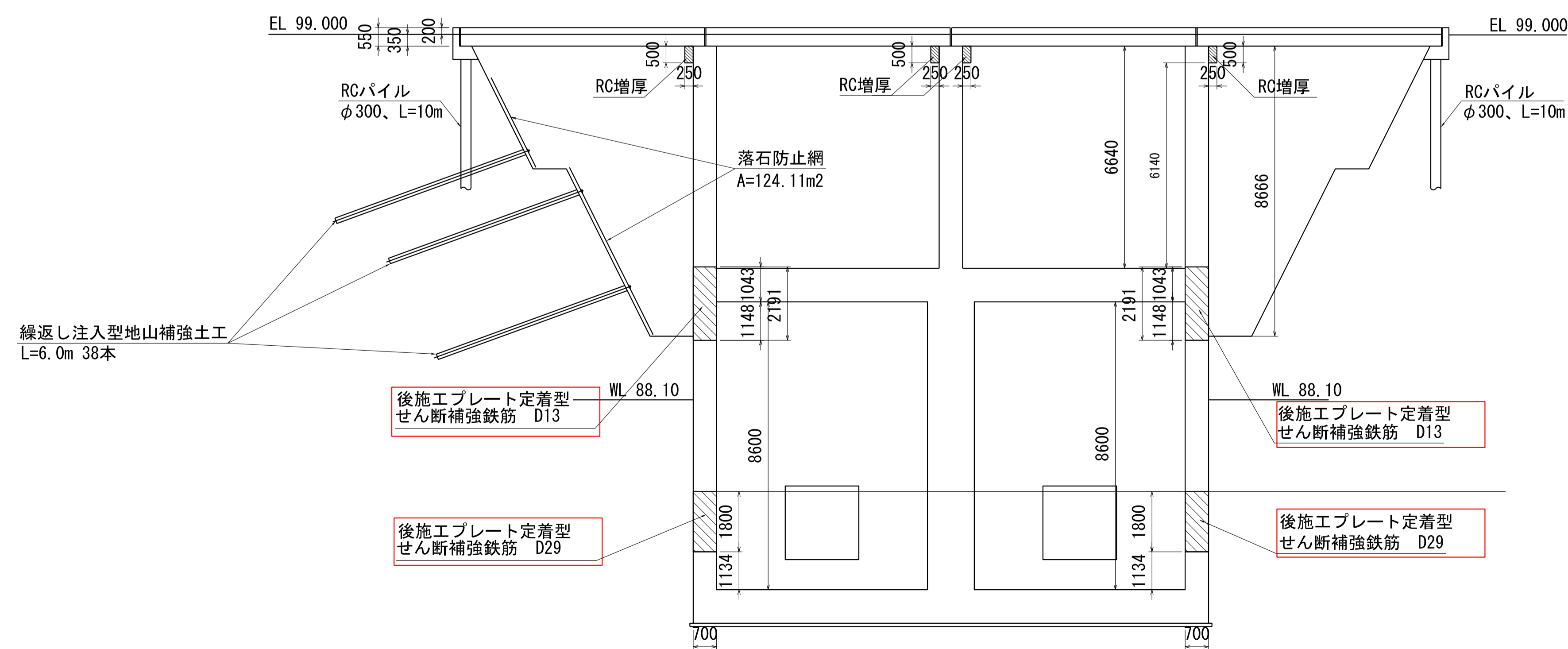
S=1:200



2. 単位
測点、標高はm単位で示し、構造寸法は特に示さない限りmm単位で示す。

A-A断面図

S=1:100



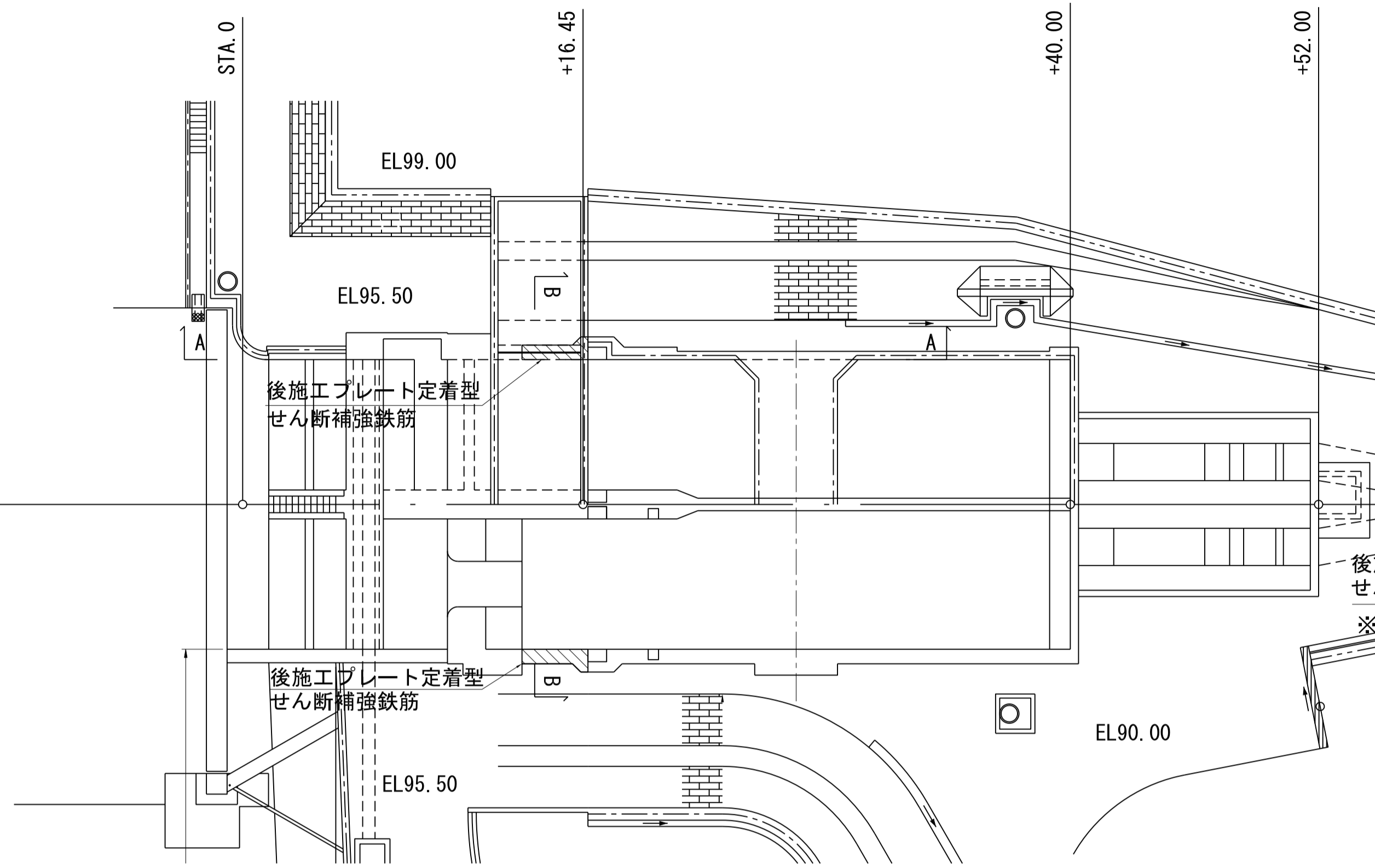
見積対象

工事名	
名称	見積参考資料
登録番号	整理番号
独立行政法人 水資源機構 香川用水管理所	

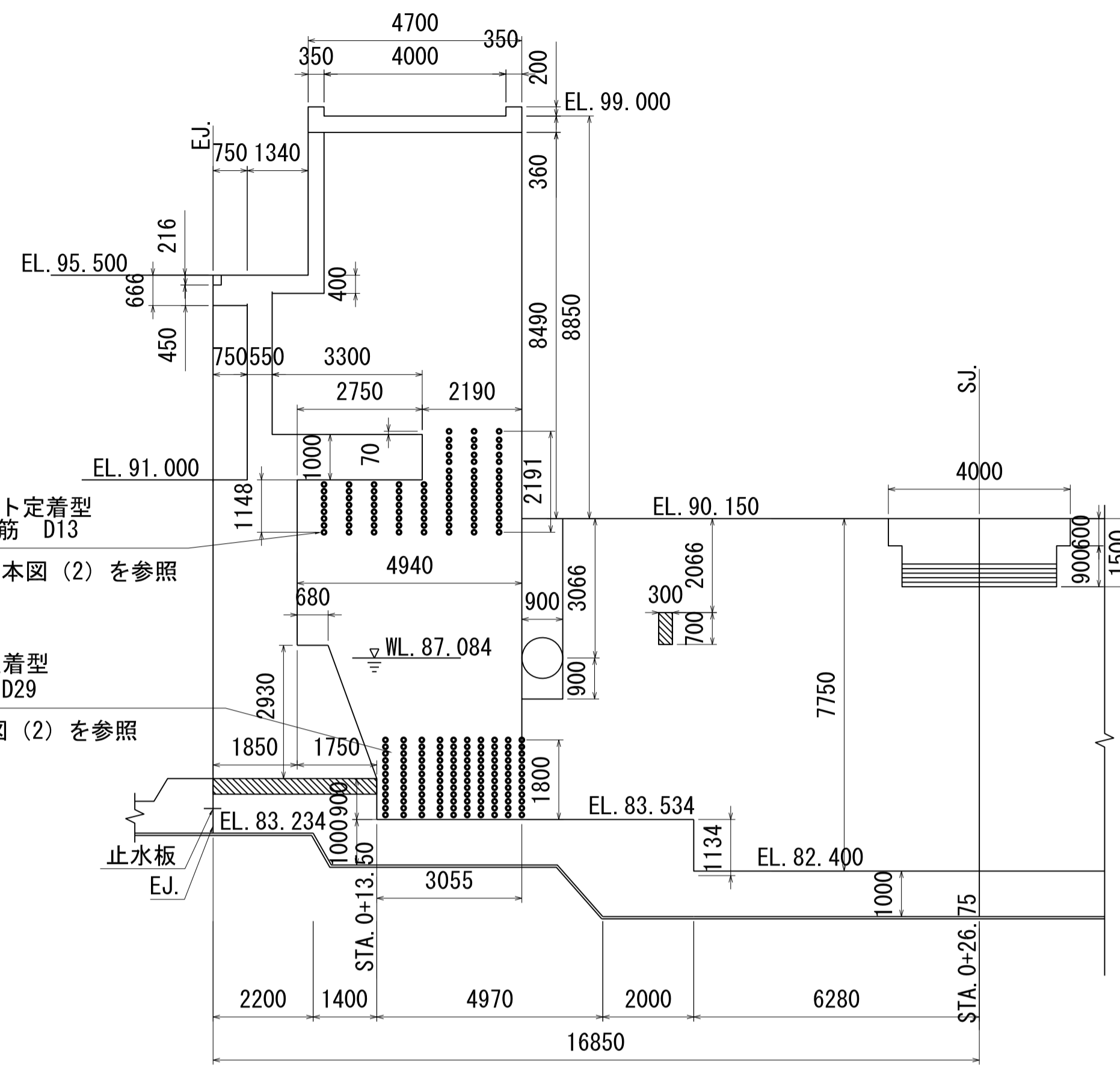
取水工耐震補強工構造図 (1)

注意事項

平面図
S=1:200

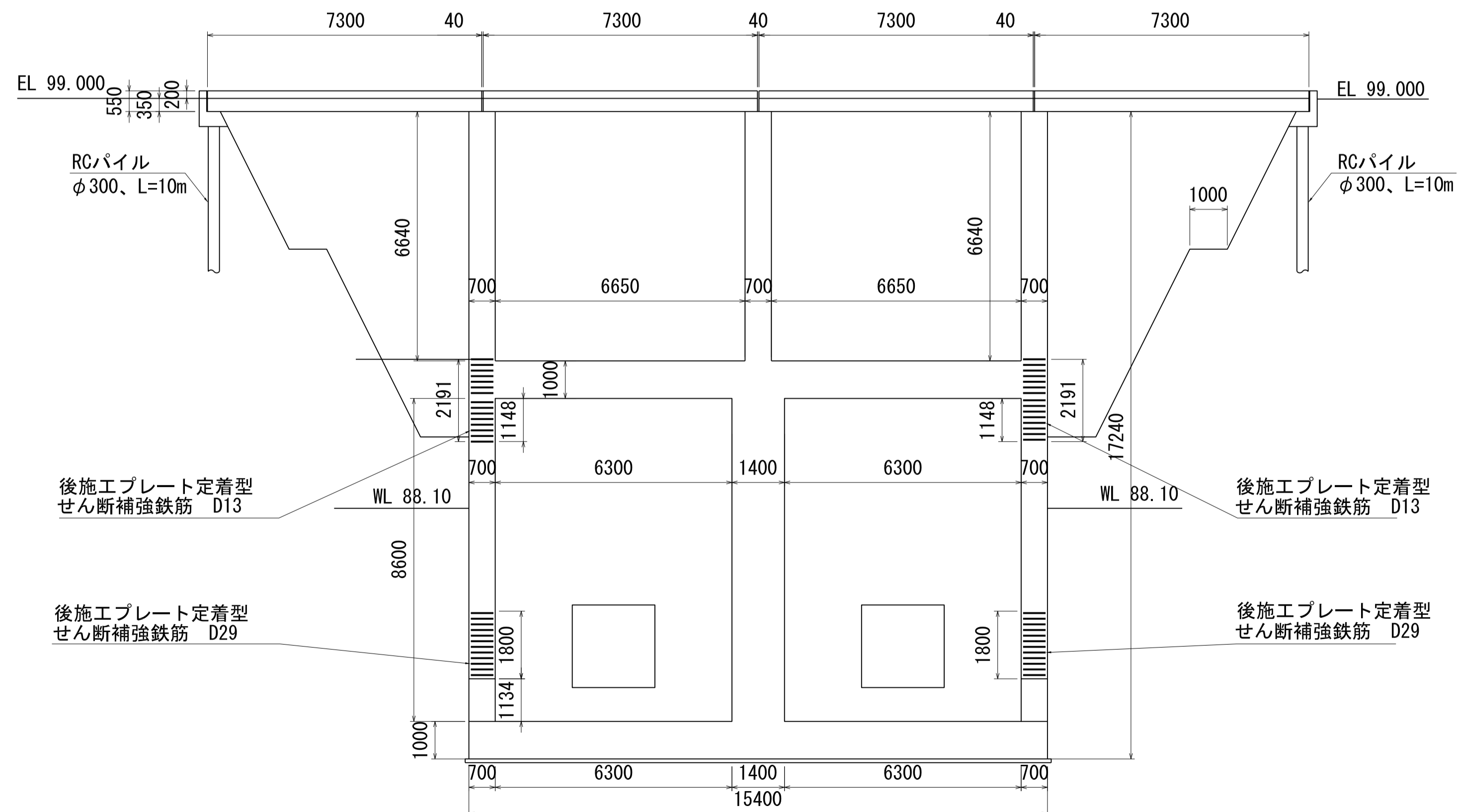


S=図示 A-A断面図
S=1:100

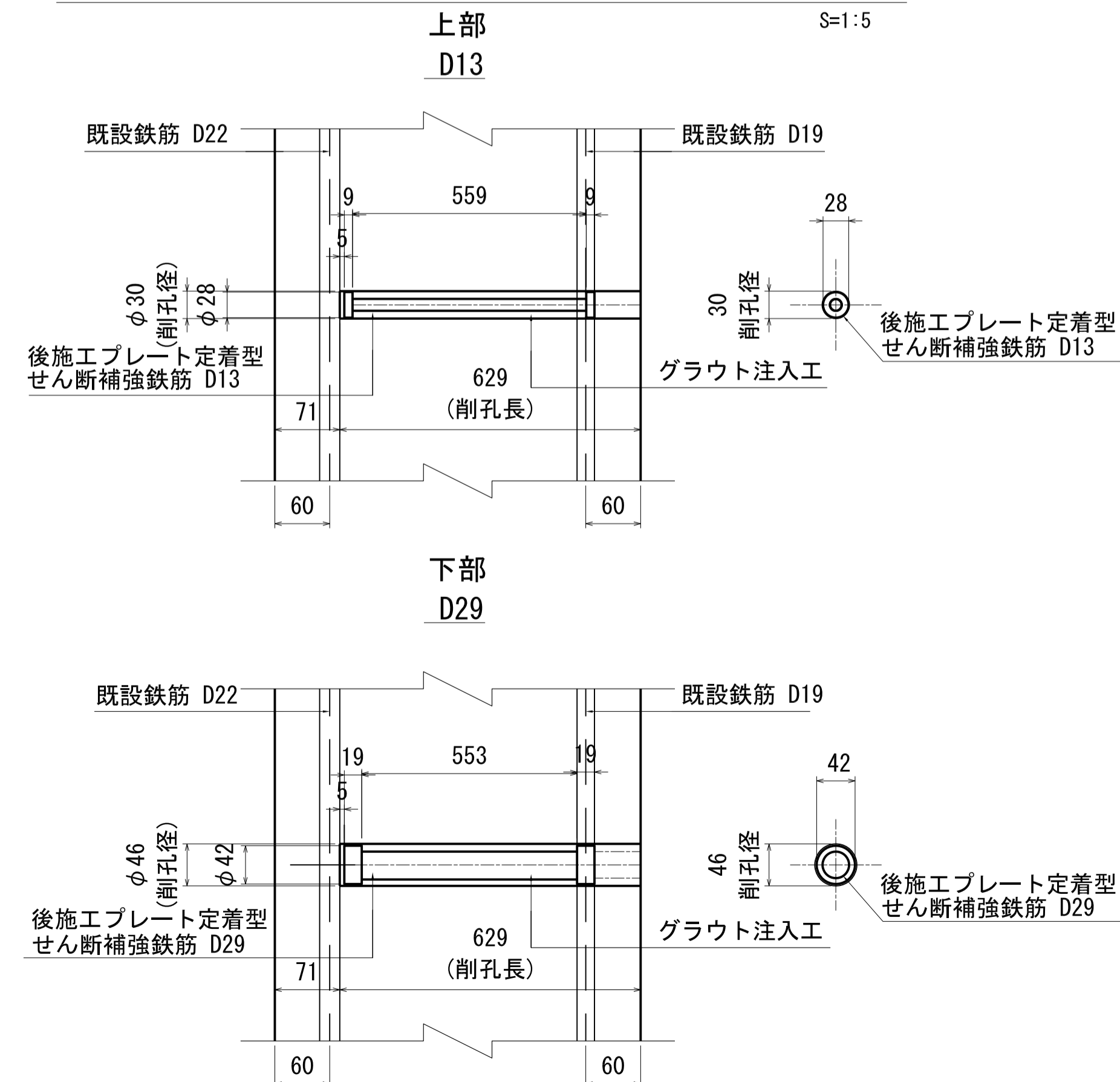


2. 単位
測点、標高はm単位で示し、構造寸法は特に示さない限りmm単位で示す。
3. 鉄筋
鉄筋はSD345とする。
4. 確認事項
施工前に既設形状寸法を確認すること。
5. 施工について
削孔位置は竣工図に基づき決定している。そのため、鉄筋探査等で既設鉄筋と干渉することが判明した場合は、監督員と協議の上、位置変更を行うこと。

B-B断面図
S=1:100



後施工プレート定着型せん断補強鉄筋詳細図
S=1:5



工事名	
名称	見積参考資料
登録番号	整理番号
独立行政法人 水資源機構 香川用水管理所	

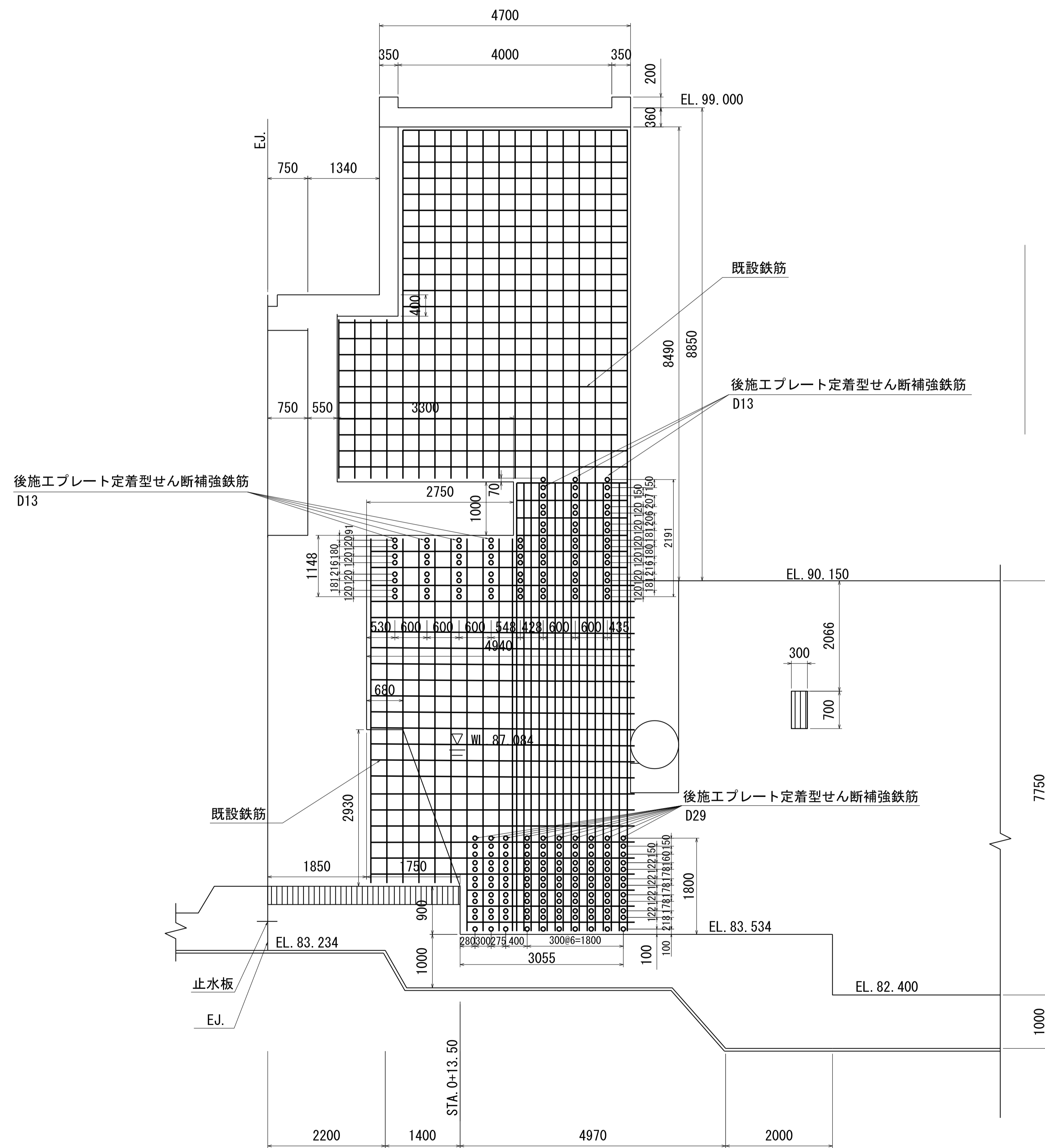
取水工 耐震補強工 構造図(2)

S=1:50

注意事項

2. 単位
測点、標高はm単位で示し、構造寸法は特に示さない限りmm単位で示す。
3. 鉄筋
鉄筋はSD345とする。
4. 確認事項
施工前に既設形状寸法を確認すること。
5. 施工について
削孔位置は竣工図に基づき決定している。そのため、鉄筋探査等で既設鉄筋と干渉することが判明した場合は、監督員と協議の上、位置変更を行うこと。

側壁内面



箇所	種別	細別	規格	本数
上部	後施工プレート定着型せん断補強鉄筋	片側挿入式鉄筋	SD345 D13 × 559	170
下部	後施工プレート定着型せん断補強鉄筋	片側挿入式鉄筋	SD345 D29 × 553	240

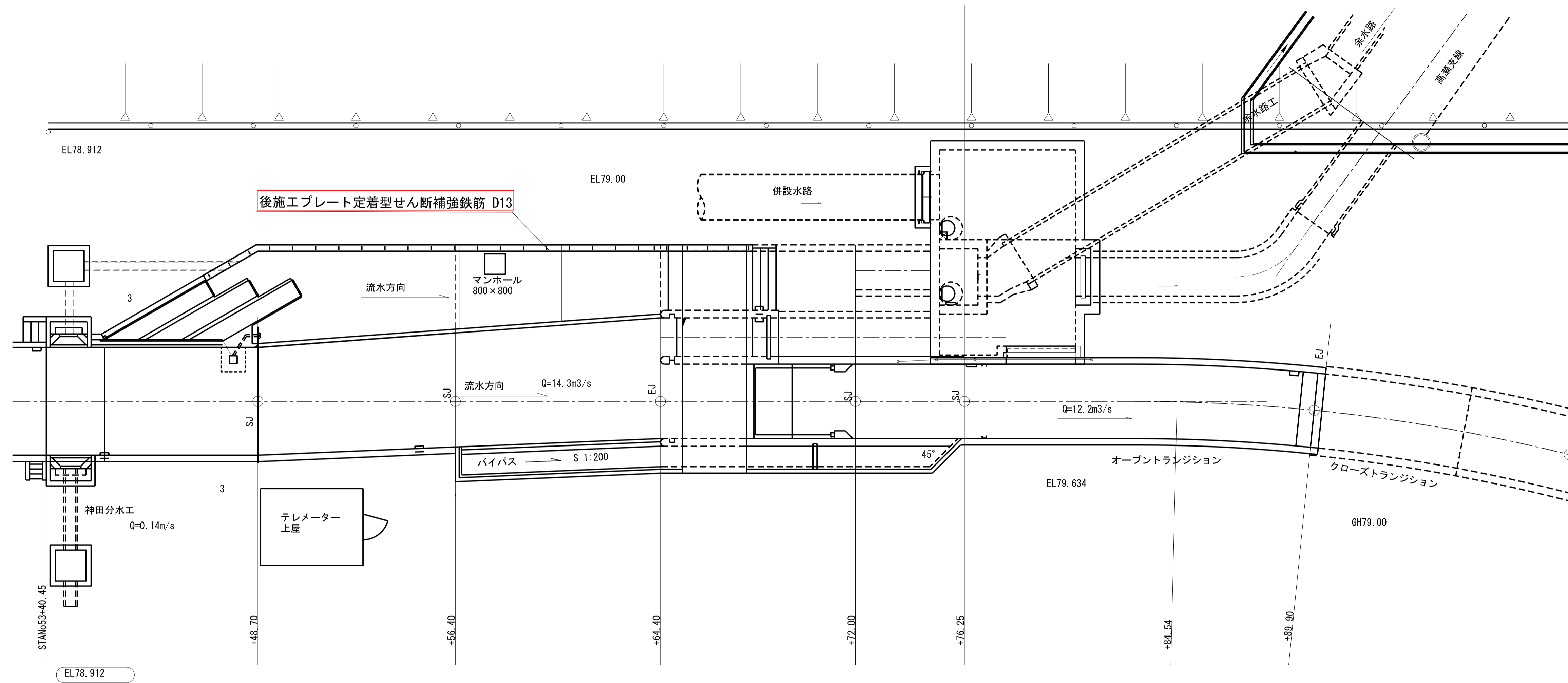
工事名	
名称	見積参考資料
登録番号	整理番号
独立行政法人 水資源機構 香川用水管理所	

耐震補強工平面図 神田調節堰

S=1:100

注意事項

2. 単位
 別点、標高はm単位で示し、構造寸法は特に示さない限りmm単位で示す。



見積対象

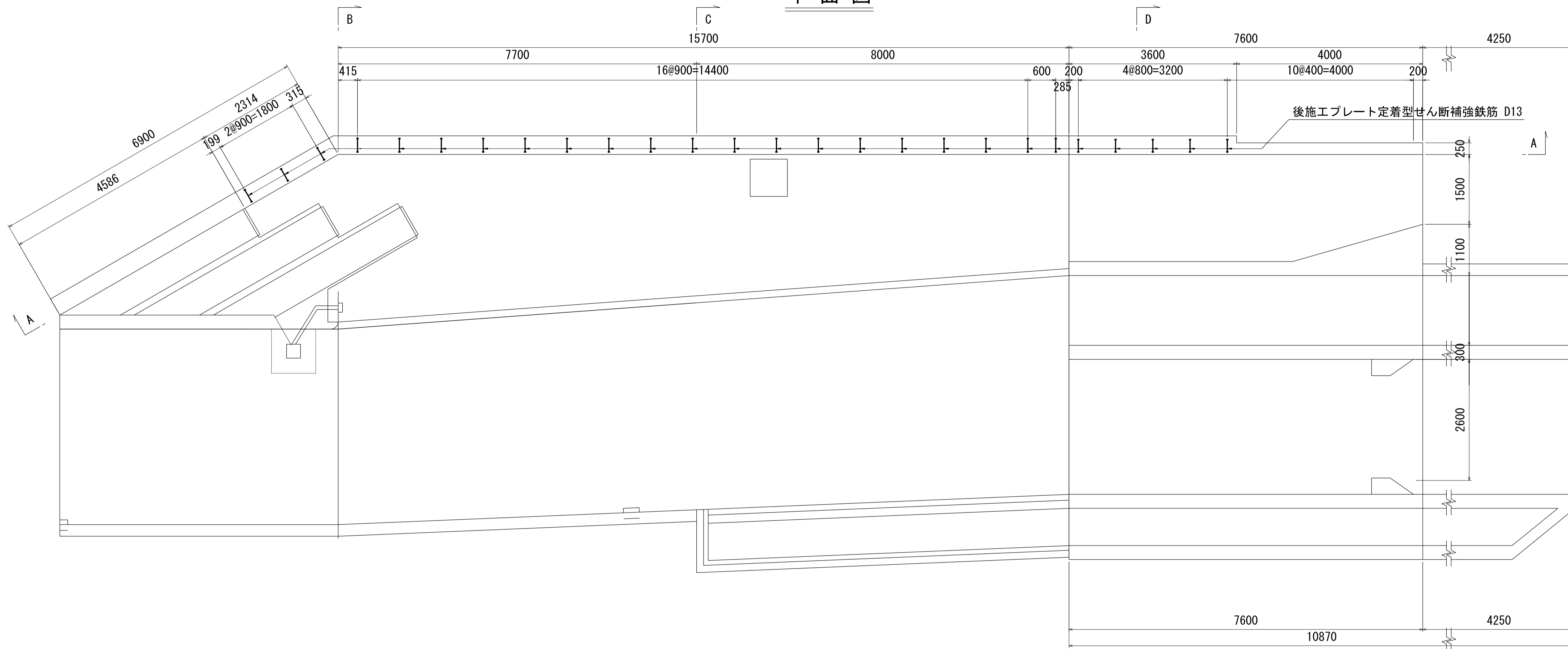
工事名	
名称	見積参考資料
登録番号	整理番号
独立行政法人 水資源機構 香川用水管理所	

耐震補強工構造図(1) 神田調整堰
 後施工プレート定着型せん断補強鉄筋 S=1:50

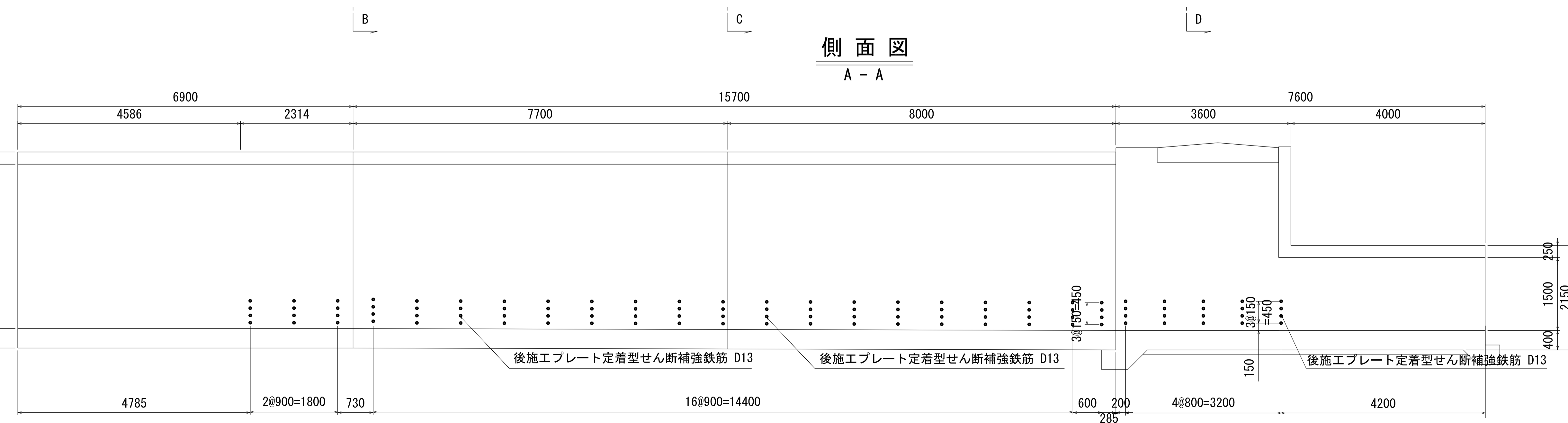
注意事項

2. 単位
 別点、標高はm単位で示し、構造寸法は特に示さない限りmm単位で示す。
3. 確認事項
 施工前に既設形状寸法を確認すること。
4. 施工について
 剛孔位置は竣工図に基づき決定している。そのため、鉄筋探査等で既設鉄筋と干渉することが判明した場合は、監督員と協議の上、位置変更を行うこと。

平面図



側面図



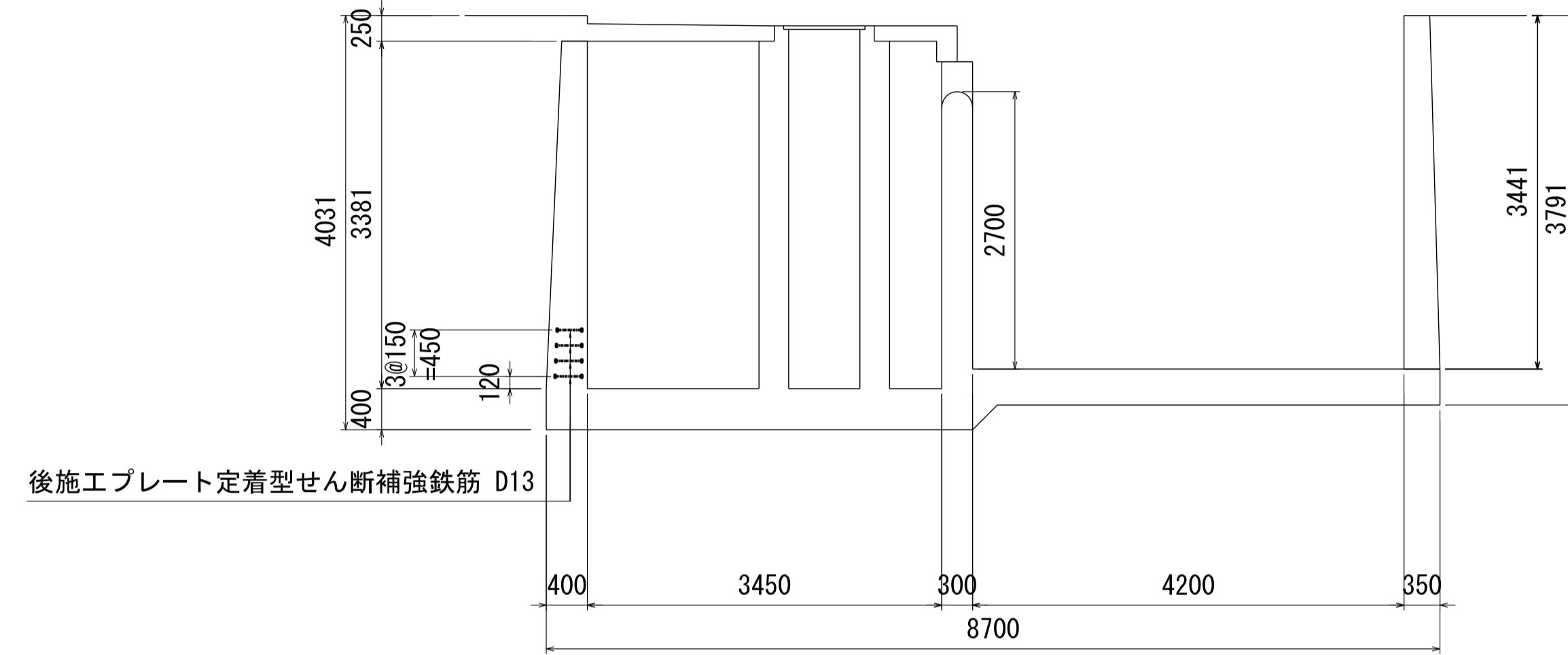
工事名	
名称	見積参考資料
登録番号	整理番号
独立行政法人 水資源機構 香川用水管理所	

耐震補強工構造図(2) 神田調整堰
後施工プレート定着型せん断補強鉄筋 S=図示

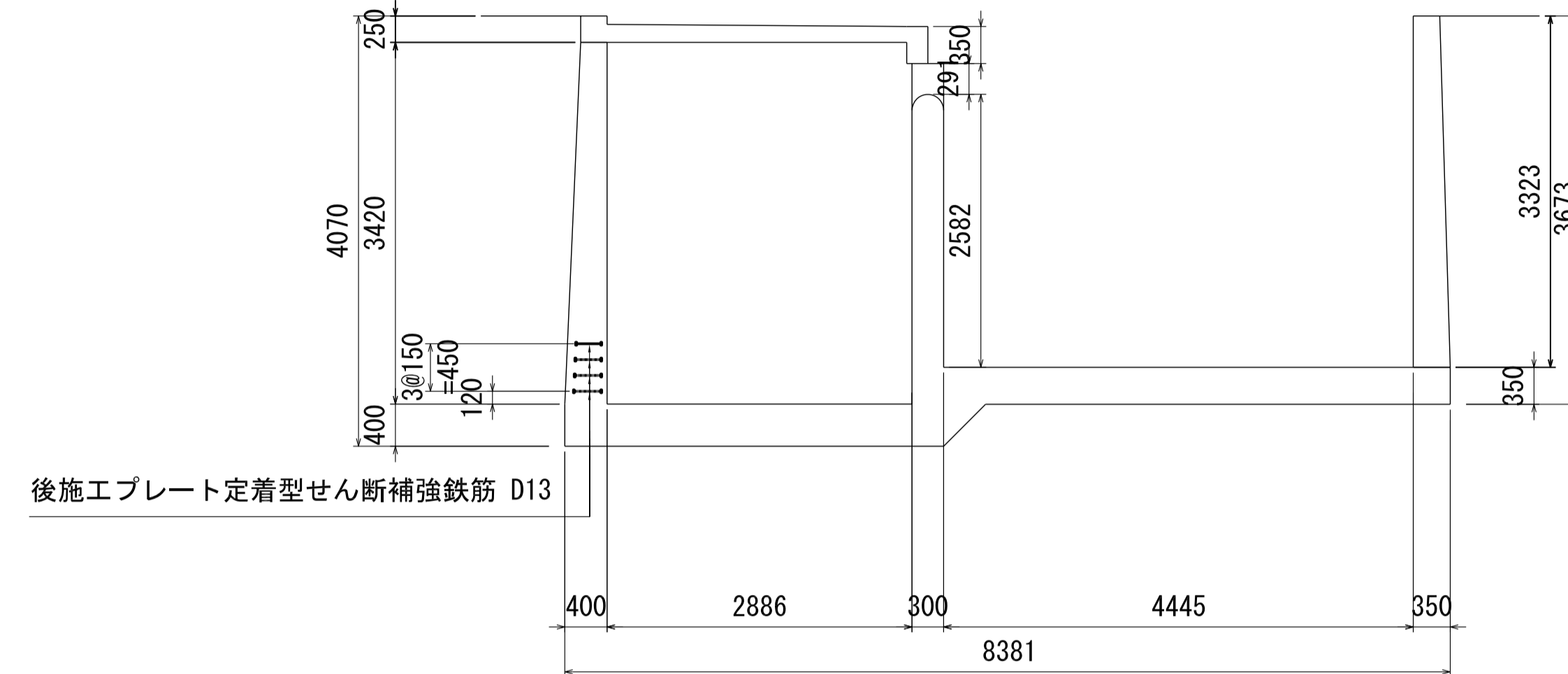
注意事項

2. 単位
測点、標高はm単位で示し、構造寸法は特に示さない限りmm単位で示す。
3. 確認事項
施工前に既設形状寸法を確認すること。
4. 施工について
削孔位置は竣工図に基づき決定している。そのため、鉄筋探査等で既設鉄筋と干渉することが判明した場合は、監督員と協議の上、位置変更を行うこと。

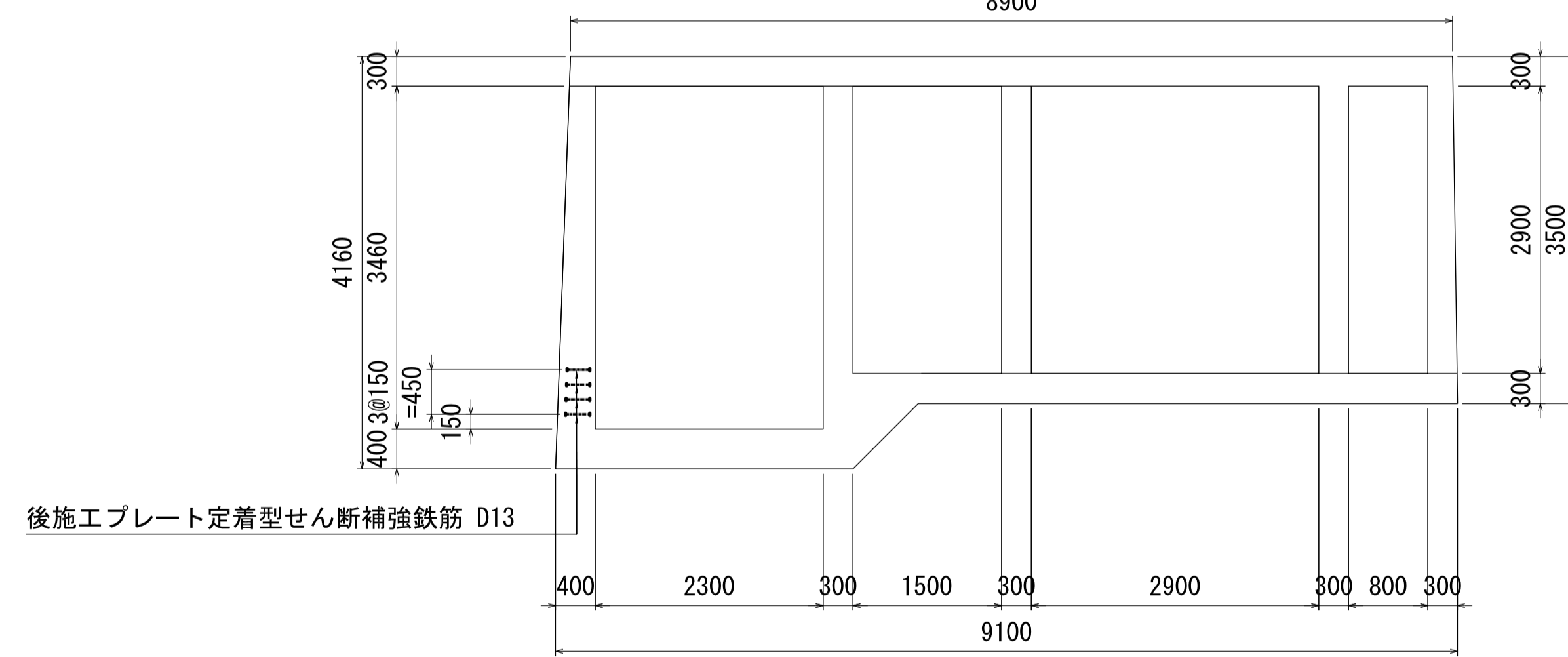
断面図
B - B S=1:50



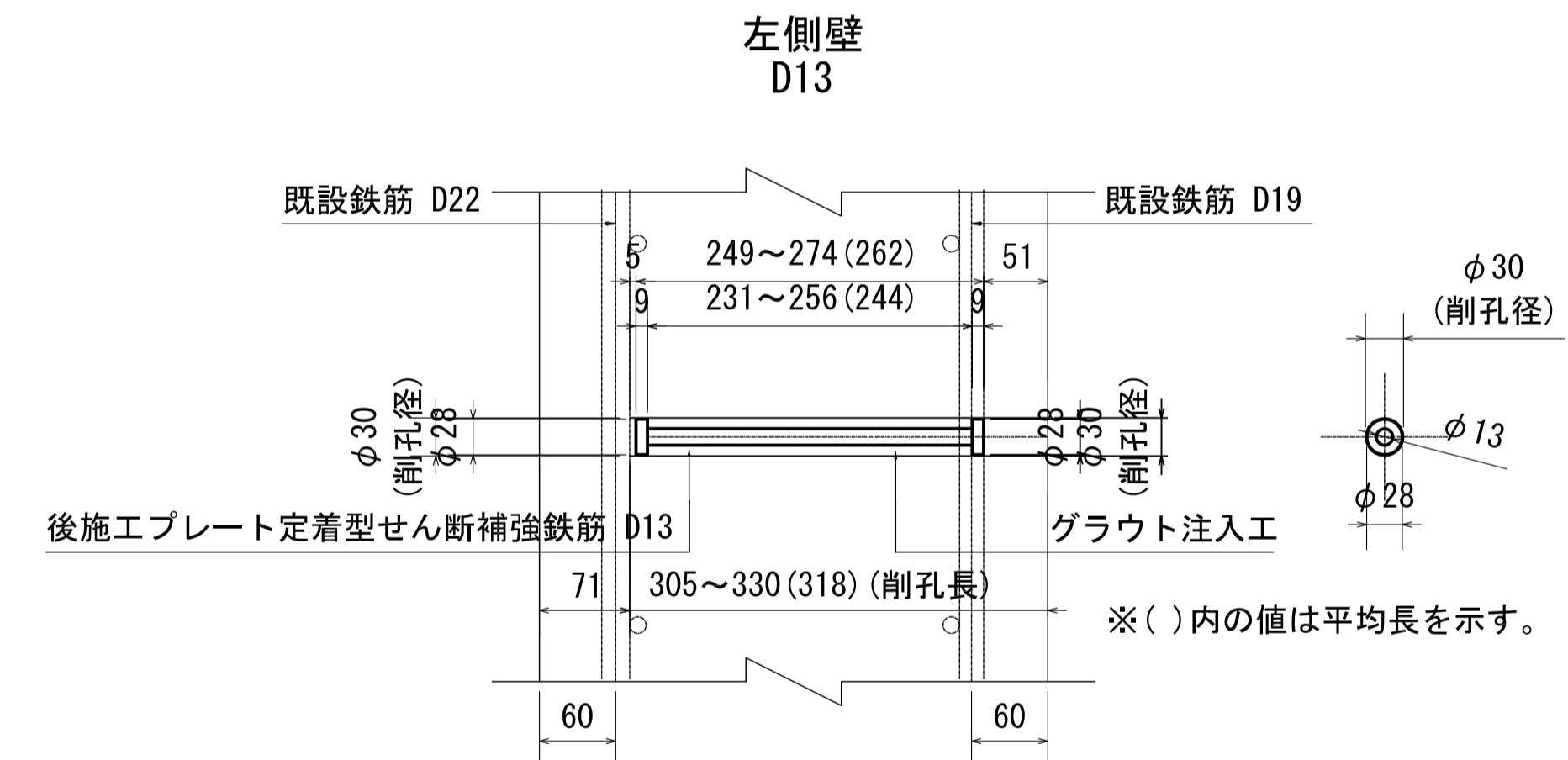
断面図
C - C S=1:50



断面図
D - D S=1:50



詳細図
S=1:5



種別	細別	規格	本数
後施工プレート定着型せん断補強鉄筋	片側挿入式鉄筋	SD345 D13 × 262 (平均長)	104

工事名	
名称	見積参考資料
登録番号	整理番号
独立行政法人 水資源機構 香川水管理所	

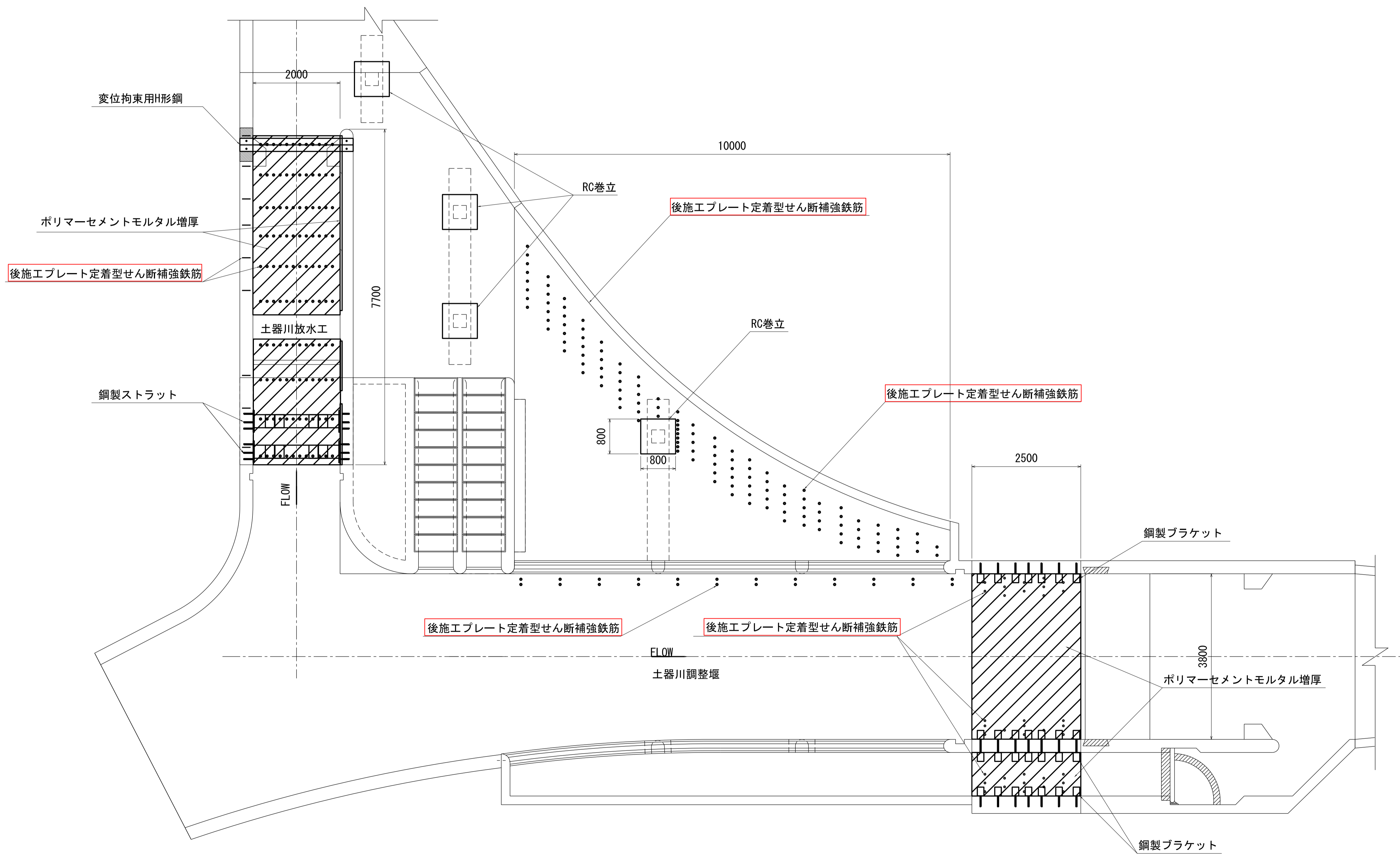
耐震補強工平面図 土器川調節堰、放水工

S=1:50

注意事項

2.単位
測点、標高はm単位で示し、構造寸法は特に示さない限りmm単位で示す。

平面図



見積対象	
工事名	
名称	見積参考資料
登録番号	整理番号
独立行政法人 水資源機構 香川用水管理所	

耐震補強工構造図(3)土器川調節堰

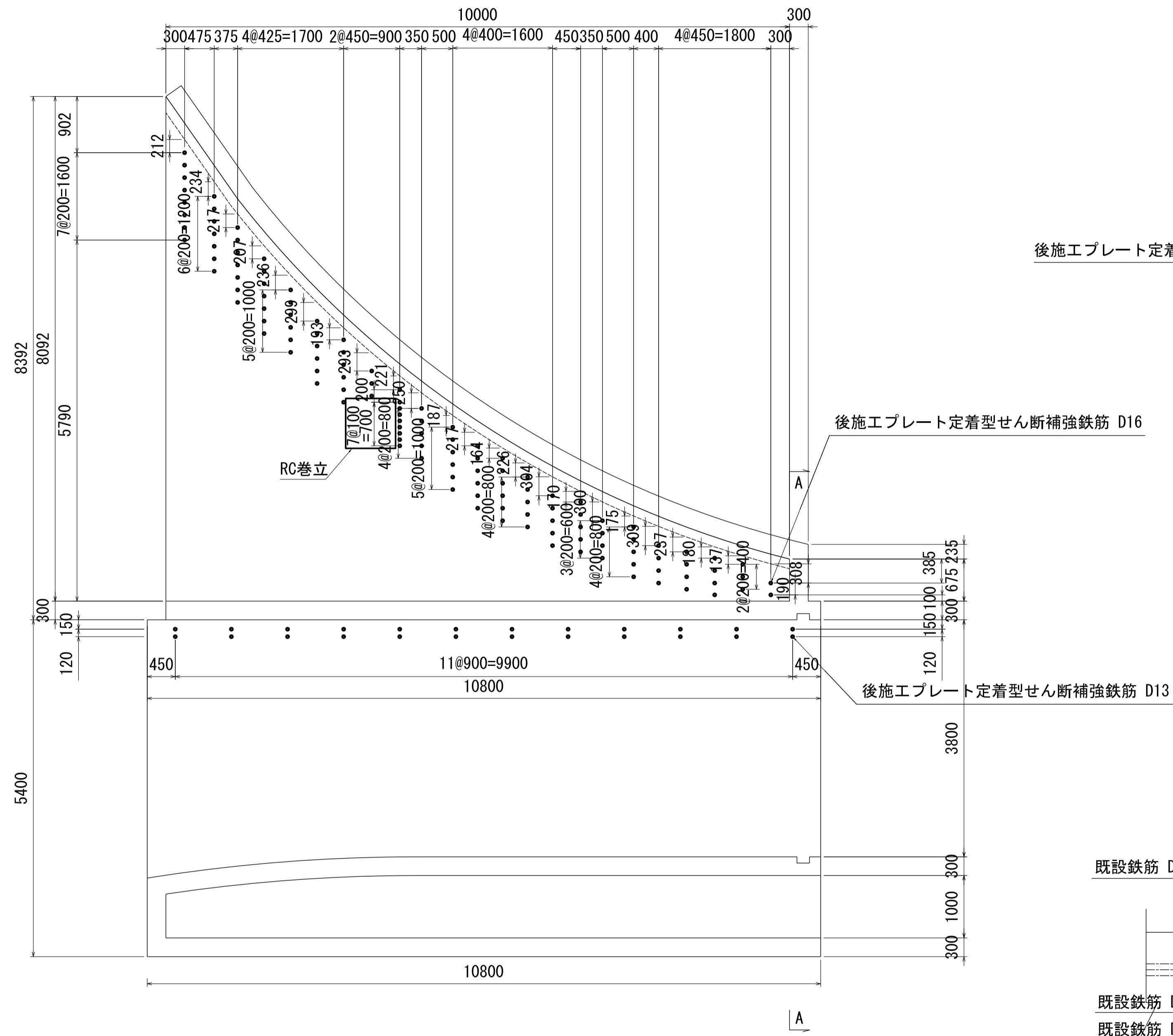
後施工プレート定着型せん断補強鉄筋 S=図示

注意事項

2. 単位
測点、標高はm単位で示し、構造寸法は特に示さない限りmm単位で示す。
3. 確認事項
施工前に既設形状寸法を確認すること。
4. 施工について
削孔位置は竣工図に基づき決定している。そのため、鉄筋探査等で既設鉄筋と干渉することが判明した場合は、監督員と協議の上、位置変更を行うこと。

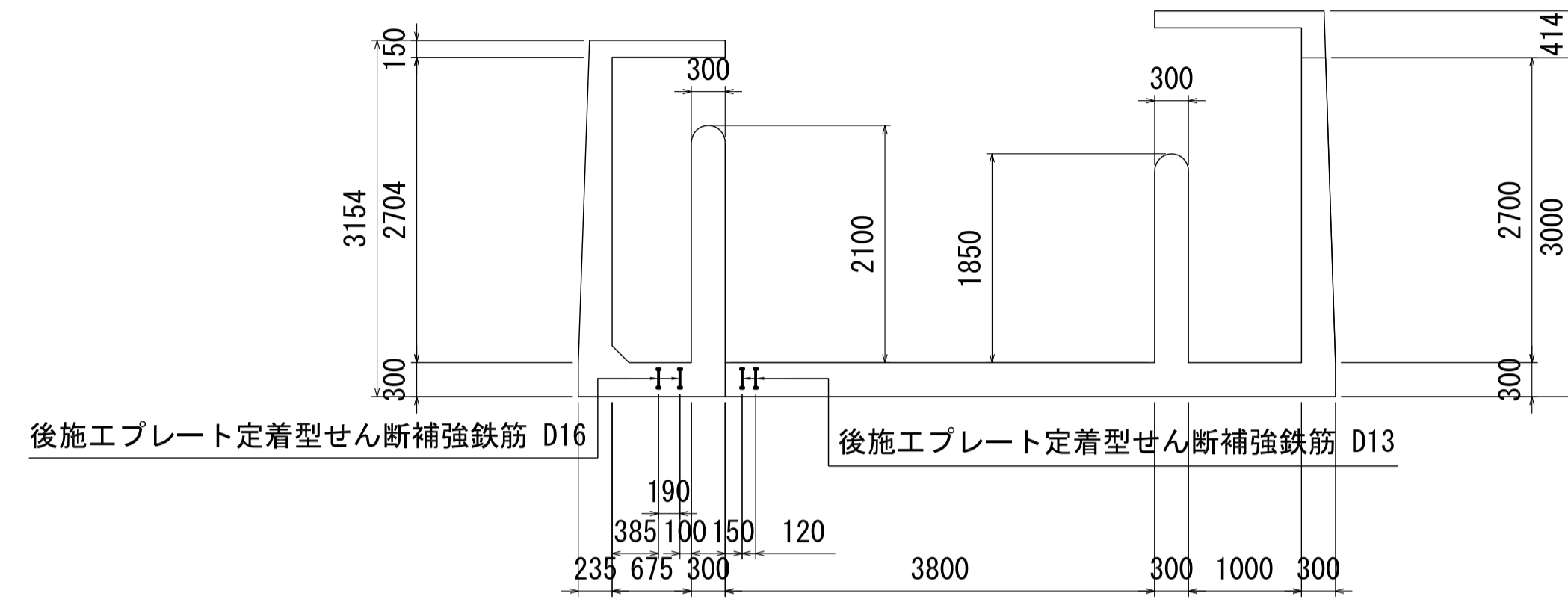
平面図

S=1:50



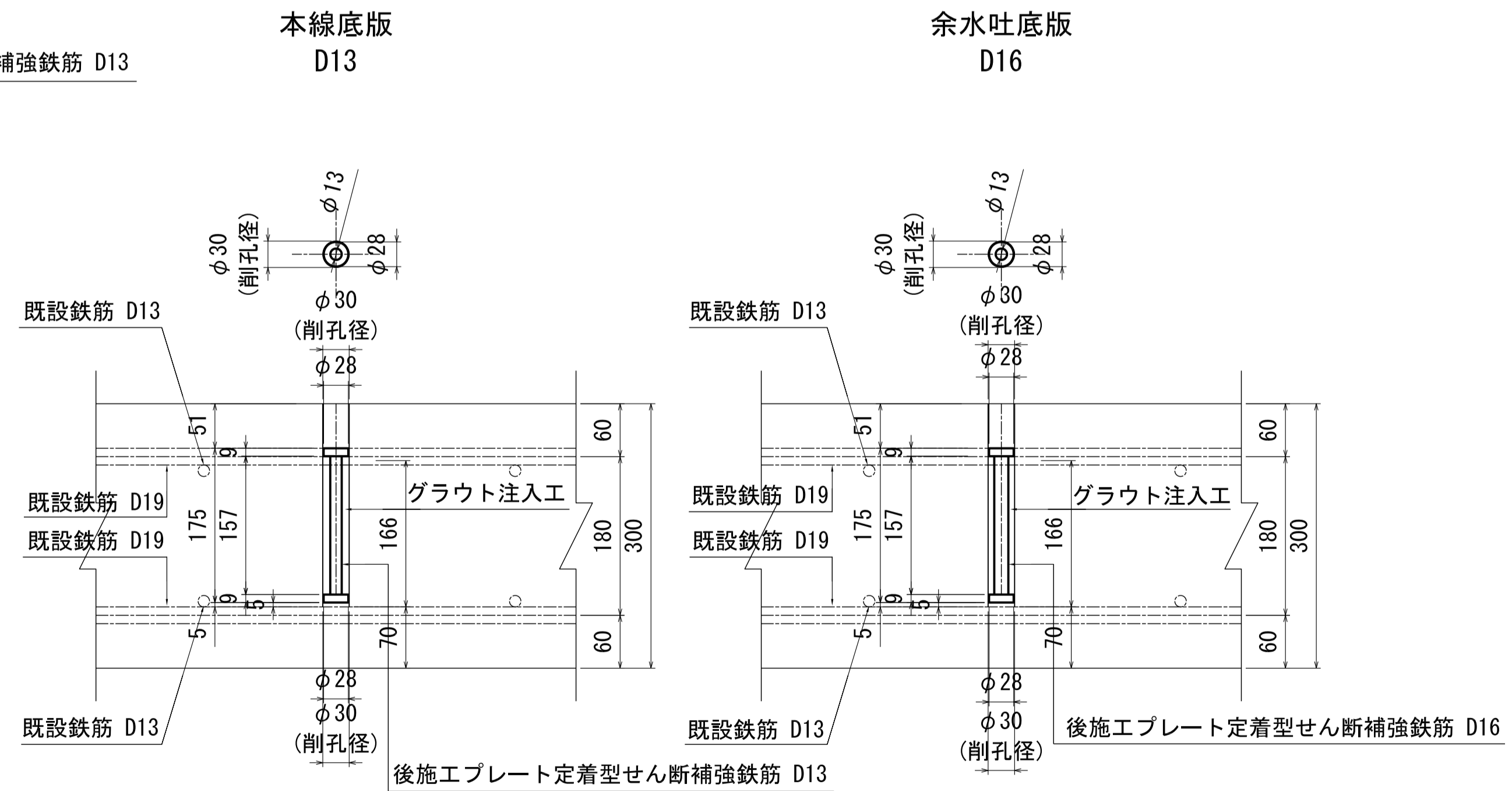
断面図

A - A S=1:50



詳細図

S=1:5



箇所	種別	細別	規格	本数
本線底版	後施工プレート定着型せん断補強鉄筋	片側挿入式鉄筋 SD345	D13 × 175	24
余水吐底版	後施工プレート定着型せん断補強鉄筋	片側挿入式鉄筋 SD345	D16 × 175	123

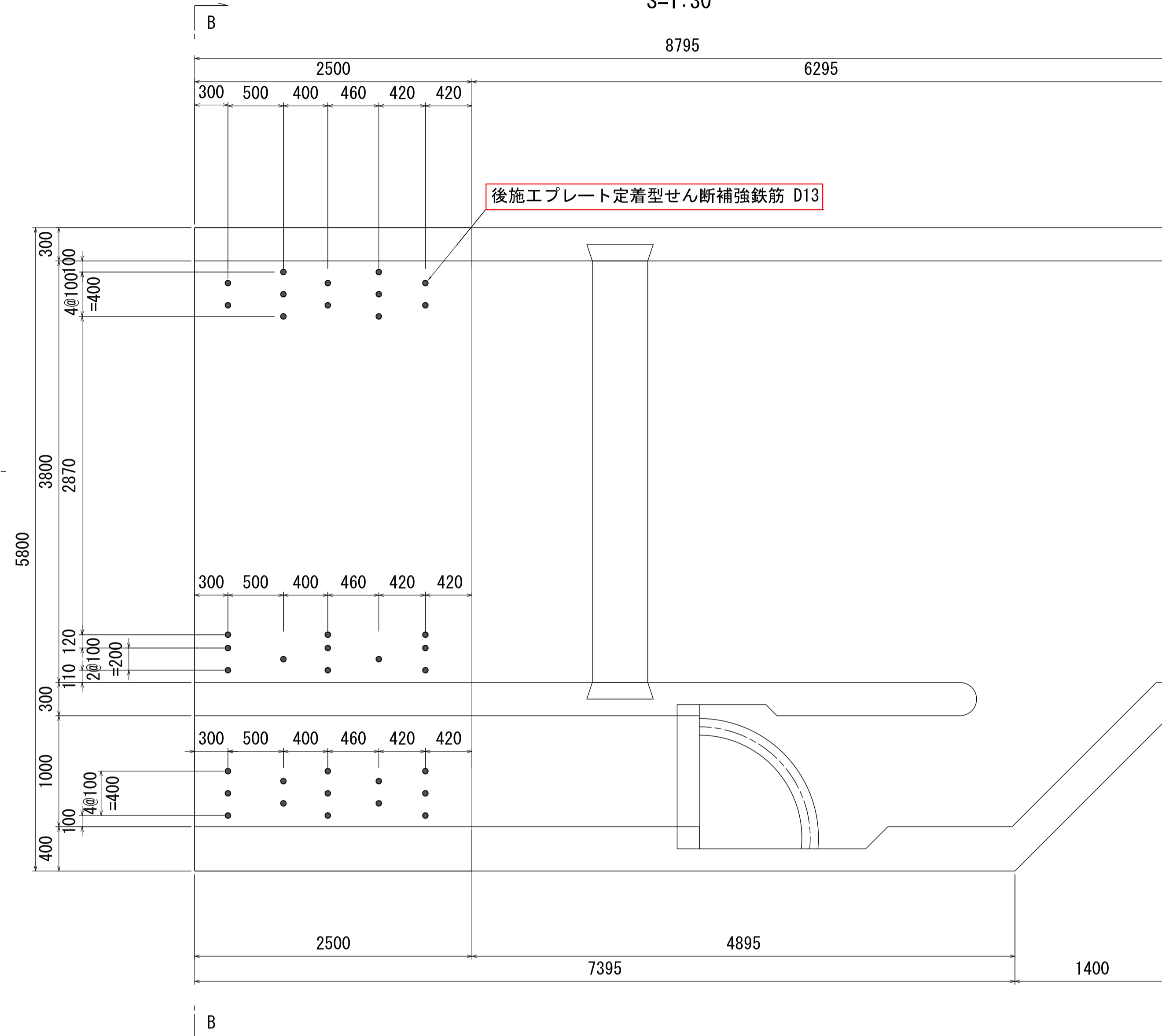
工事名	
名称	見積参考資料
登録番号	整理番号
独立行政法人 水資源機構 香川用水管理所	

耐震補強工構造図(6) 土器川調節堰

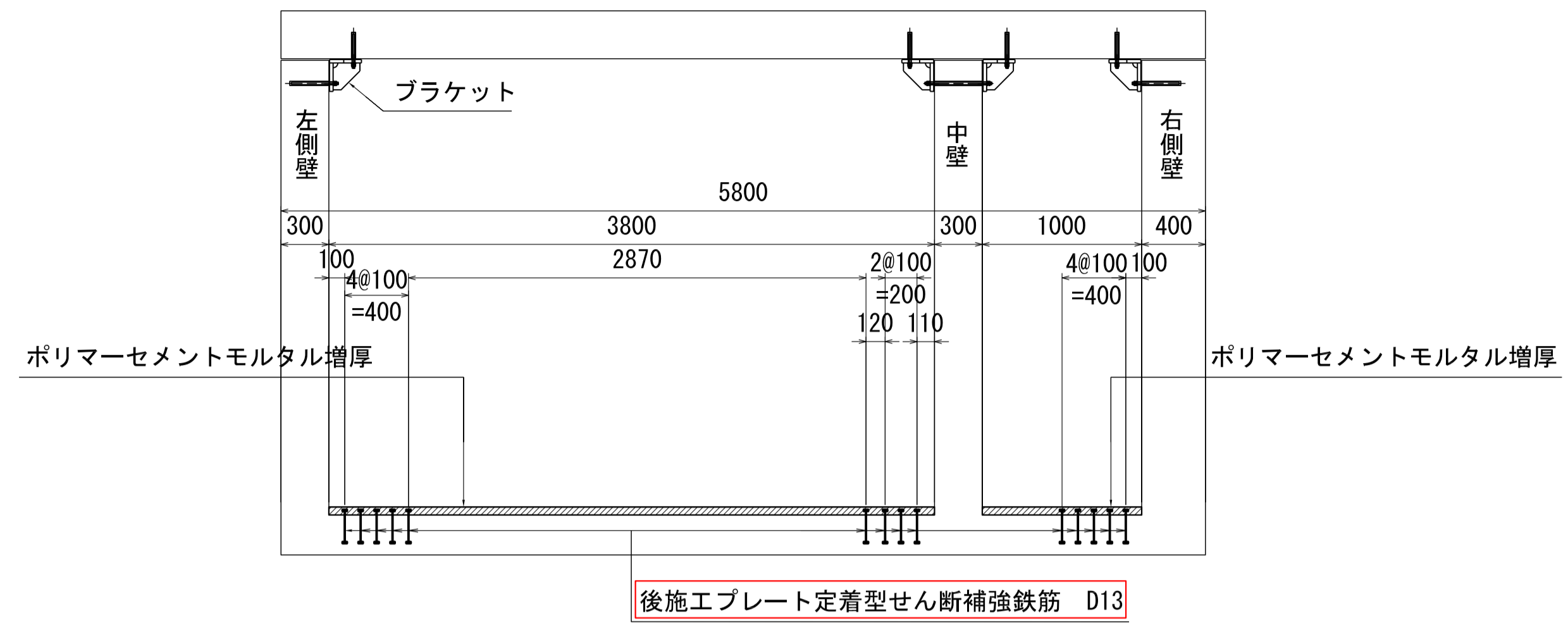
後施工プレート定着型せん断補強鉄筋 S=図示

注意事項

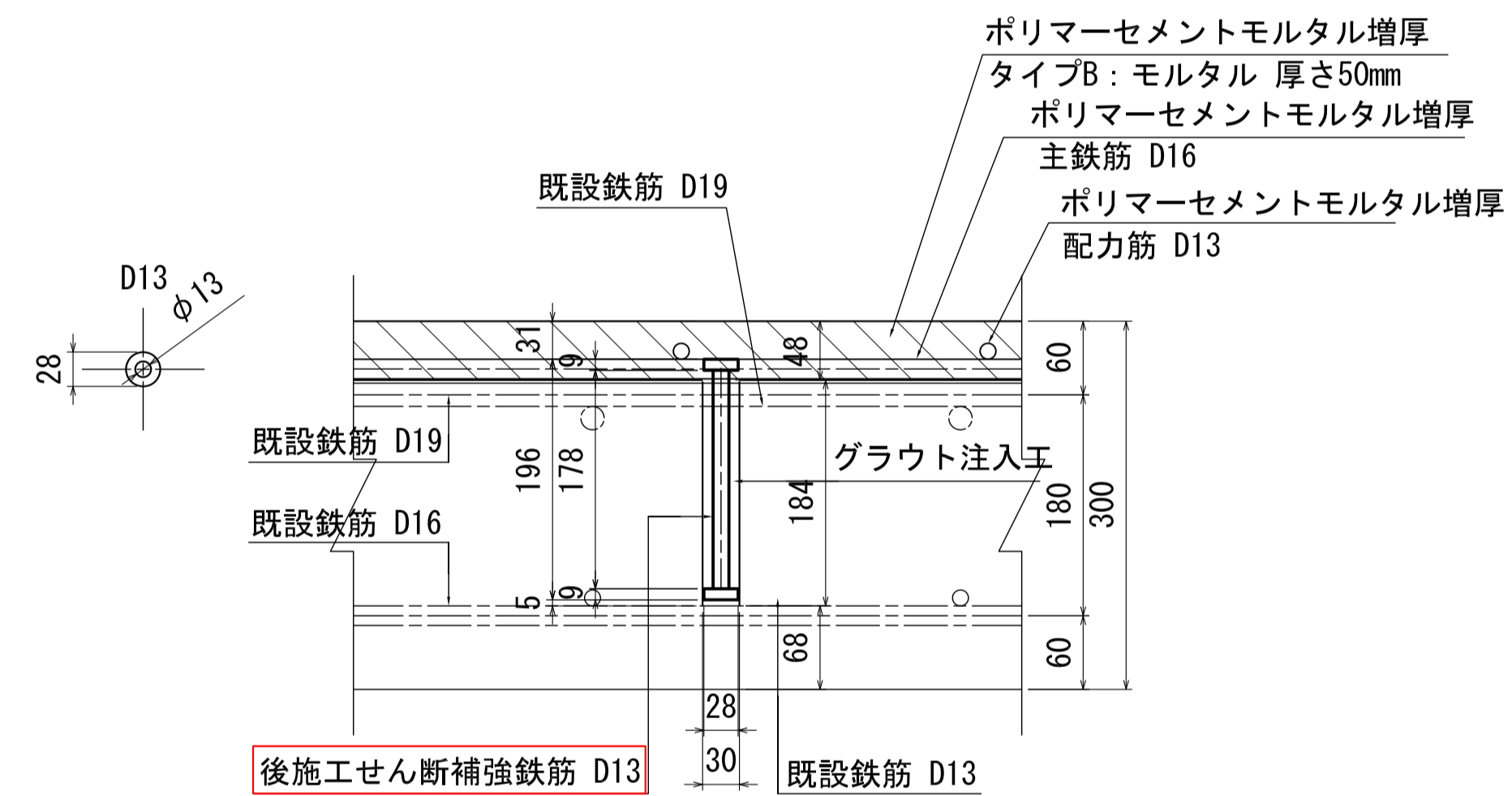
平面図
S=1:30



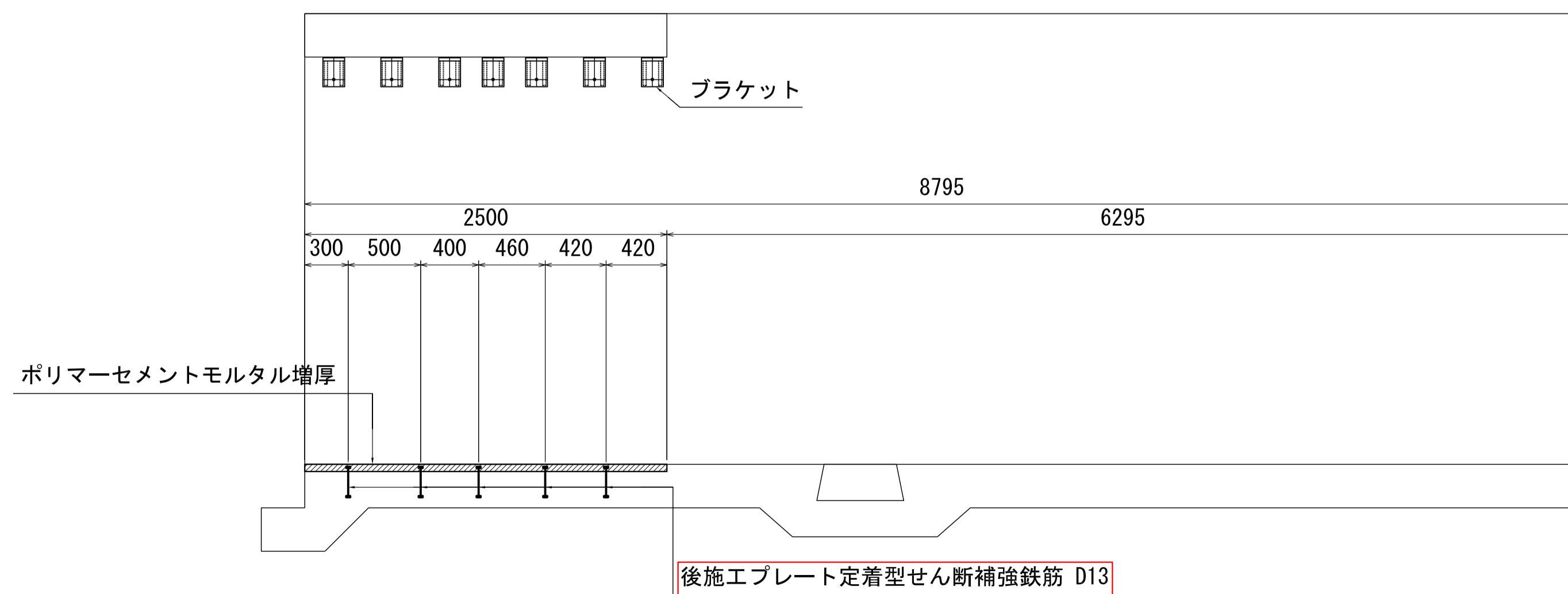
断面図
B - B S=1:30



詳細図
S=1:5



2. 単位
測点、標高はm単位で示し、構造寸法は特に示さない限りmm単位で示す。
3. 確認事項
施工前に既設形状寸法を確認すること。
4. 施工について
削孔位置は竣工図に基づき決定している。そのため、鉄筋探査等で既設鉄筋と干渉することが判明した場合は、監督員と協議の上、位置変更を行うこと。
5. 施工手順
「後施工プレート定着型せん断補強鉄筋」と「ポリマーセメントモルタル増厚」の併用区間は、以下の手順で施工する。
①鉄筋探査工
②構造物取壊し工（はつり工、既設主鉄筋位置まで）
③後施工プレート定着型せん断補強鉄筋 削孔工
④後施工プレート定着型せん断補強鉄筋 取付工（はつり位置までグラウト注入）
⑤ポリマーセメントモルタル増厚 補強鉄筋取付工
⑥ポリマーセメントモルタル増厚 モルタル施工
※補強鉄筋（せん断補強鉄筋）周辺にモルタルを確実に充填すること



箇所	種別	細別	規格	本数
底版	後施工プレート定着型せん断補強鉄筋	片側挿入式鉄筋	SD345 D13 × 196	36

見積対象	
工事名	
名称	見積参考資料
登録番号	整理番号
独立行政法人 水資源機構 香川用水管理所	

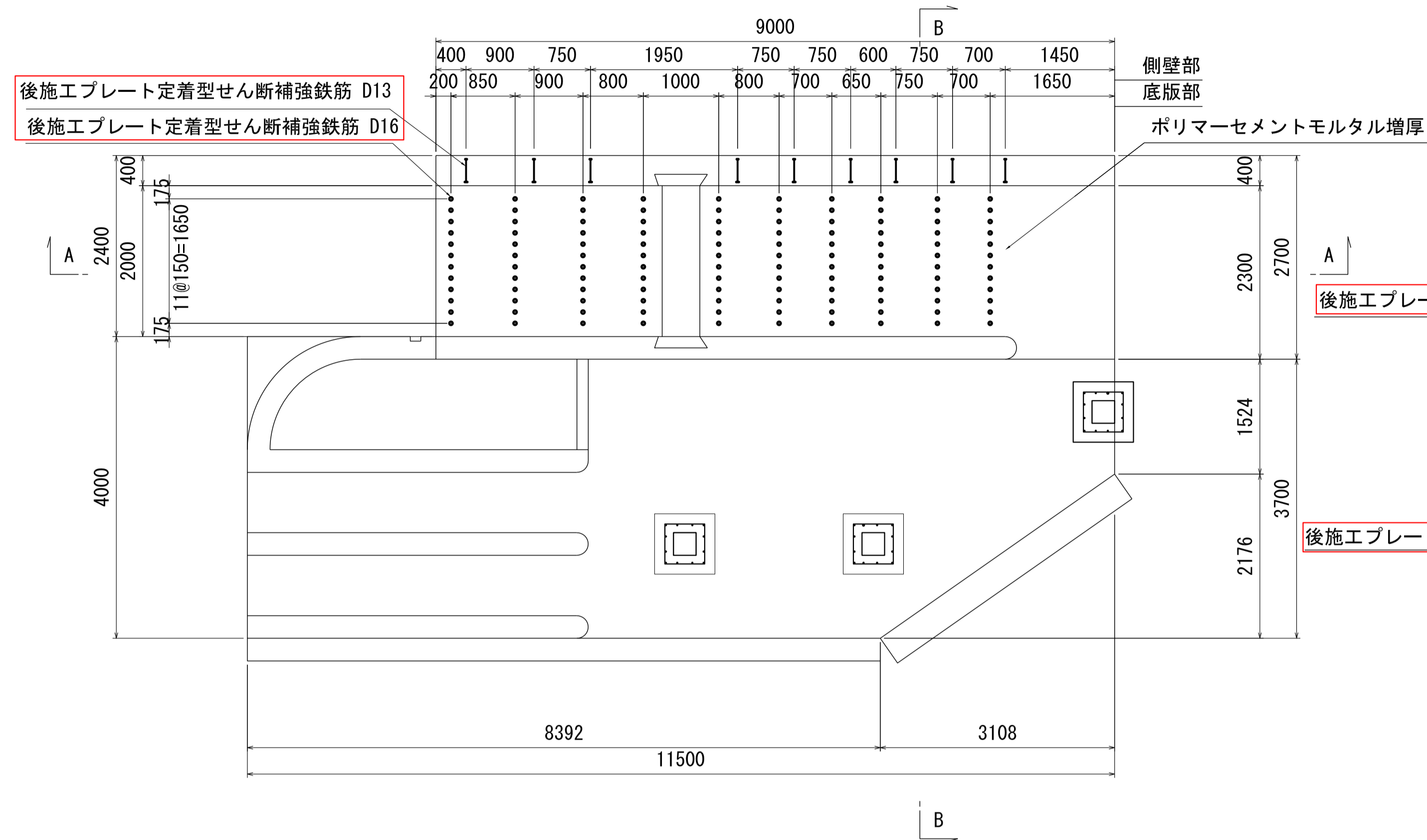
耐震補強工構造図(12)土器川放水工

後施工プレート定着型せん断補強鉄筋 S=図示

注意事項

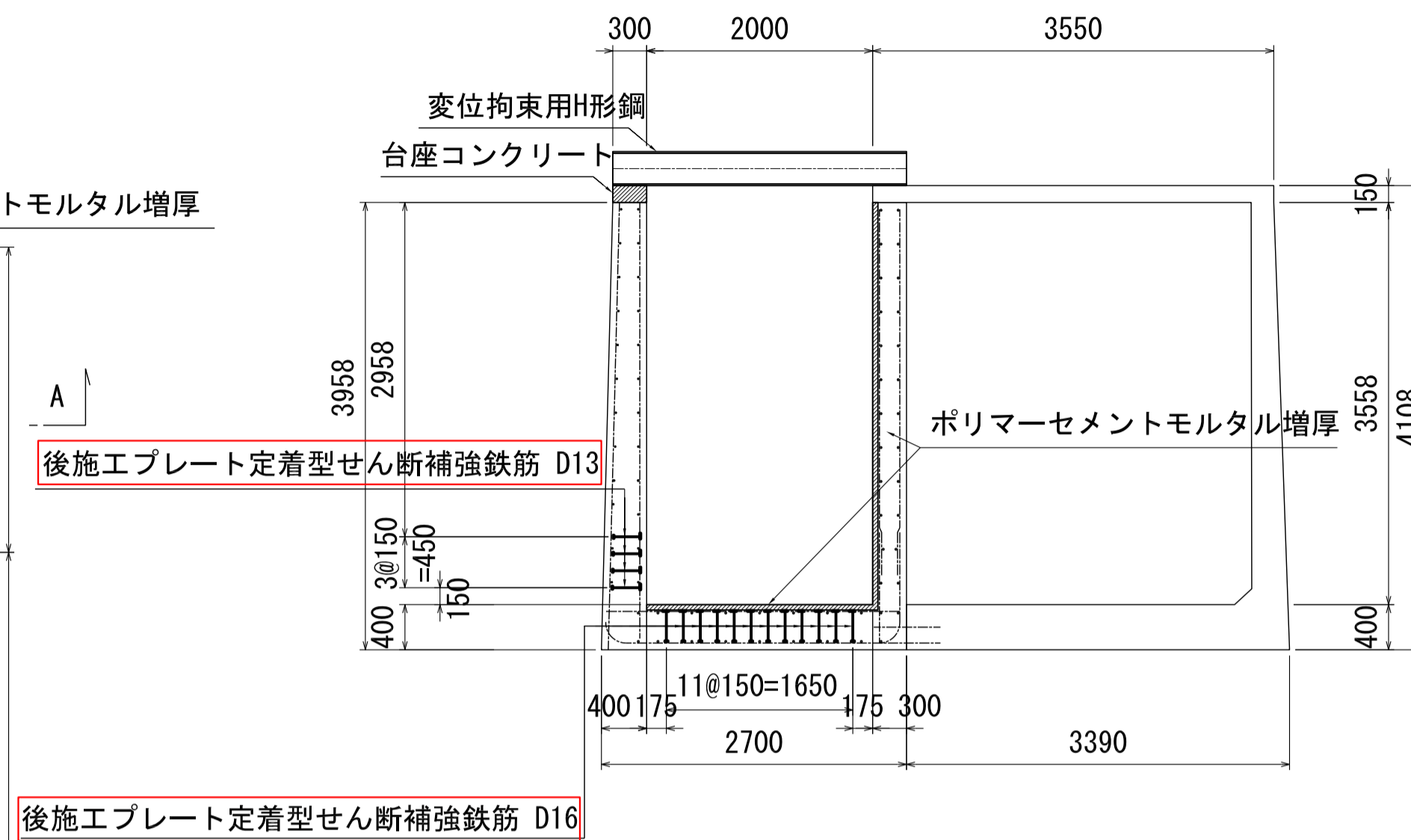
平面図

S=1:50



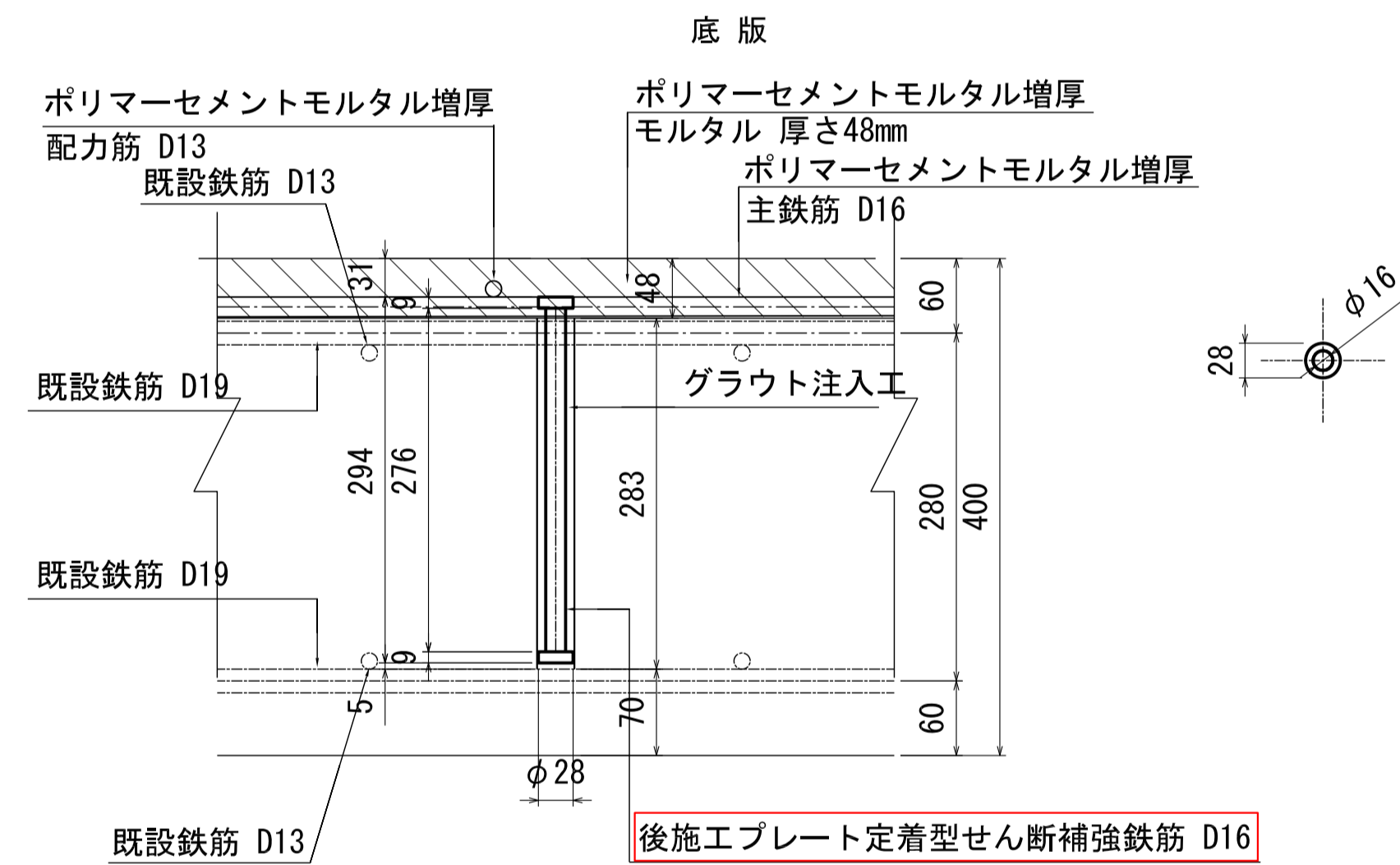
断面図

B - B S=1:50



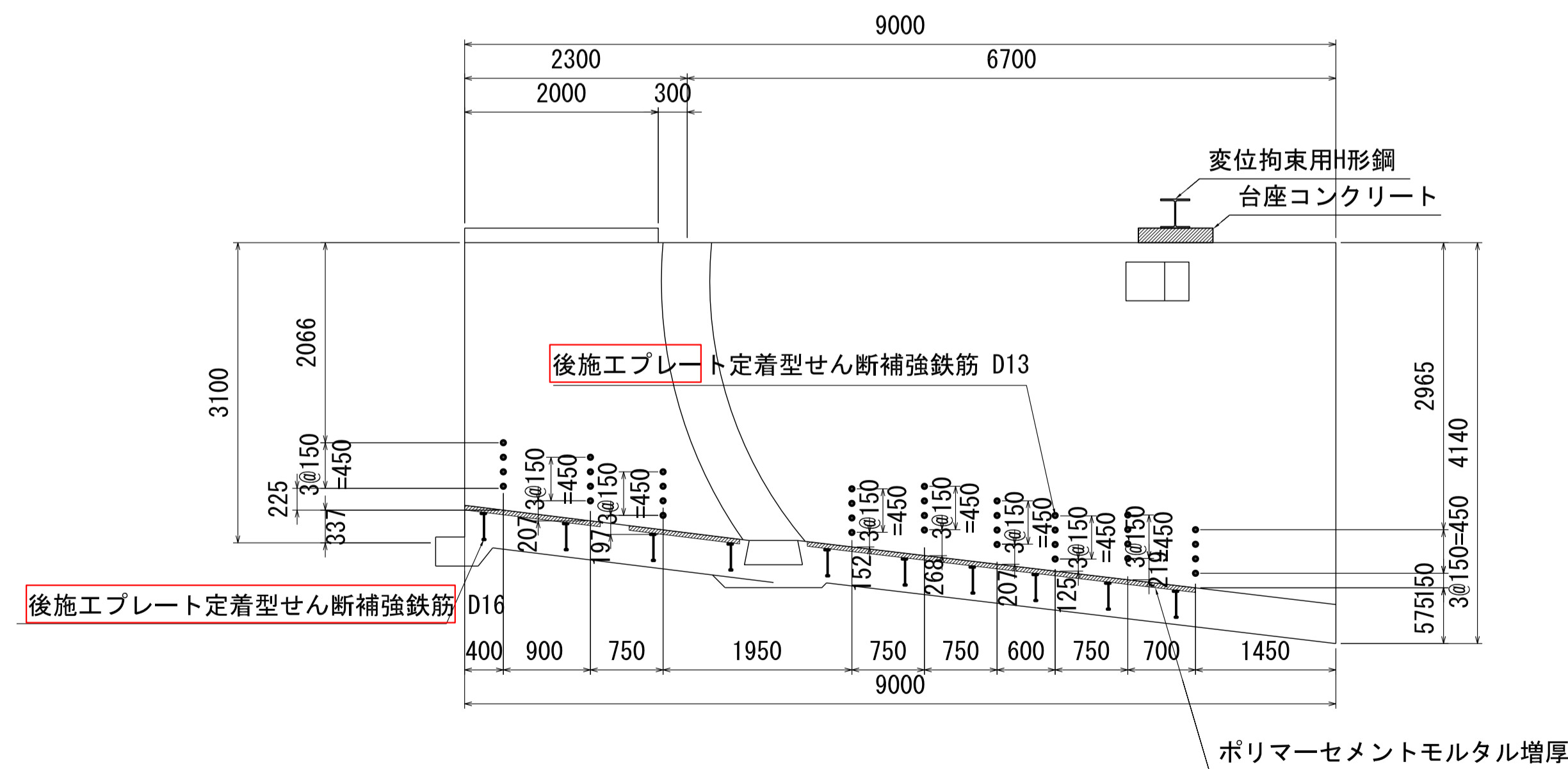
せん断補強鉄筋詳細図

S=1:5

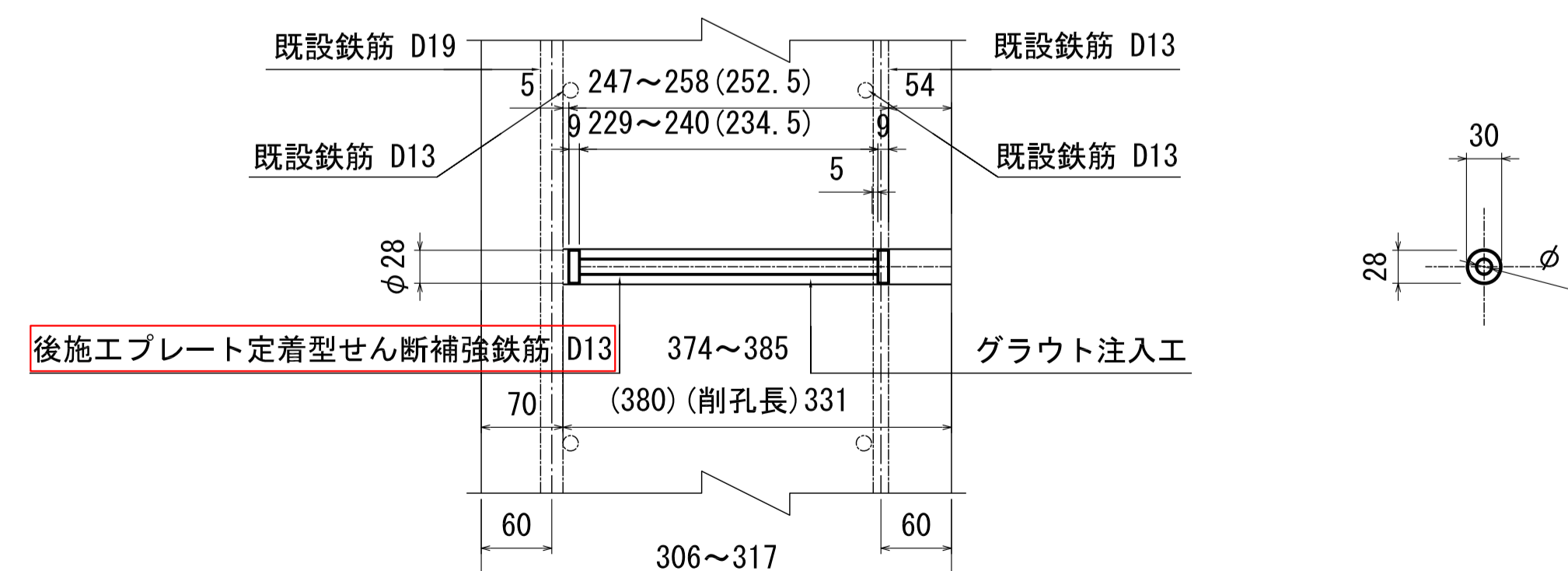


断面図

A - A S=1:50



左側壁



箇所	種別	細別	規格	本数
底板	後施工プレート定着型せん断補強鉄筋	片側挿入式鉄筋	SD345 D16 × 294 (平均長)	120
左側壁	後施工プレート定着型せん断補強鉄筋	片側挿入式鉄筋	SD345 D13 × 252.5 (平均長)	36

2. 単位
測点、標高はm単位で示し、構造寸法は特に示さない限りmm単位で示す。
3. 確認事項
施工前に既設形状寸法を確認すること。
4. 施工について
削孔位置は竣工図に基づき決定している。そのため、鉄筋探査等で既設鉄筋と干渉することが判明した場合は、監督員と協議の上、位置変更を行うこと。
5. 施工手順
「後施工プレート定着型せん断補強鉄筋」と「ポリマーセメントモルタル増厚」の併用区間は、以下の手順で施工する。
①鉄筋探査工
②構造物取壊し工 (はつり工、既設鉄筋位置まで)
③後施工プレート定着型せん断補強鉄筋 削孔工
④後施工プレート定着型せん断補強鉄筋 取付工 (はつり位置までグラウト注入)
⑤ポリマーセメントモルタル増厚 補強鉄筋取付工
⑥ポリマーセメントモルタル増厚 モルタル施工
※補強鉄筋 (せん断補強鉄筋) 周辺にモルタルを確実に充填すること

見積対象

工事名	
名称	見積参考資料
登録番号	整理番号
独立行政法人 水資源機構 香川用水管理所	

(参考) 施工対象

現況 取水工



現況



(参考) 施工対象
現況 神田調節堰



現況 土器川調節堰・土器川放水工

